

常念通り

白板地区公民館
館報編集委員会
☎ (35) 7740

第24回白板地区大運動会開催

5月24日(日) 第24回白板地区大運動会が開催されました。松本大学の学生10人のボランティアを含め約350人が参加して、盛大に行われました。

また、今年もモルック競技が行われ皆さん楽しそうに挑戦していました。最後は恒例の豚汁が振るまわれ、みなさん美味しそうに食べていました。



津軽弁のラジオ体操

津軽弁のラジオ体操と準備運動を行い、天までとどけから競技開始、休憩時には恒例の野菜・米争奪じゃんけん大会が行われ、勝者は野菜等を持ち帰りました。後半は綱引きやみんなで行こう等で熱戦を繰り広げていました。



大玉送り



玉入れ



みんなで走ろう



綱引き



おみやげどうぞ



飾り付け



折り紙で鯉のぼり作り

5月9日(土)、白板地区公民館大会議室で「端午の節句」が開催されました。参加者は子ども10人を含む36人でした。新聞紙で折った兜をかぶりながら、折り紙で鯉のぼりを作りました。目と鱗を書いて竹串に付けて完成しました。その後プラチナマジックによるマジックショーに目を奪われていました。

食生活改善推進員さん手作りの柏餅、高野豆腐の豚肉巻き等の料理を食べた後、館長の折り紙で作った兜を持ち帰り、楽しいひと時を過ごしました。

端午の節句



会食会



「プラチナマジック」によるマジックショー



自治の鐘 丸ノ内中学校

47

『学芸発表会』

丸中 Meet イン

丸ノ内中学校では、今年度より学芸発表会を分散開催とし、その第一弾として「学芸発表会」を丸中 Meet インングを実施しました。「丸中 Meet インング」とは、学校をより良くするために、1・2・3年生が合同で、時には教員も加わりながら、一つのテーマについて語り合うイベントです。

今回は、生徒会大目標である『挑輝』の達成に向け、自分たちで学校のルールを見直していこうというコンセプトのもと、テーマを「ルールについて」としました。身近でありながらも考えることの難しい内容に苦戦する様子も見られましたが、班長である3年生を中心に、より深い話し合いが進められました。それに促され、1・2年生も意見を出し合い、学年の壁を越えて活発に議論する姿が多く見られました。

話し合いの中では、「もし〇〇がなかったら学校生活はどうなるのか」「〇〇というルールがあるからこそ、私たちは毎日楽しく安全に過ごせて

いるのではないか」といった意見が出されました。その意見に耳を傾け、うなずいたり、さらに掘り下げたりする様子が見られ、とても有意義な時間となりました。時間が進むにつれて場の雰囲気も和らぎ、笑顔が増え、安心して意見を出し合える姿が印象的でした。後日、「丸中 Meet インング」について感想を聞くと、「他学年から様々な視点の意見を聞くことができて良かった」「分散開催は初めてだったが、これまでと同様に充実した活動になった」などの声が寄せられました。

今年度初の試みとなった今回の「学芸発表会」は、全校中 Meet インングは、全校生徒に強い印象を残すとともに、それぞれの成長を実感できる貴重な機会となりました。地域の皆様におかれましても、今後とも温かく見守っていただきますようお願いいたします。



テーマについて語り合う様子



穂高連山を背景に集合写真



上溝桜を観察「これもサクラ、初めて観た」

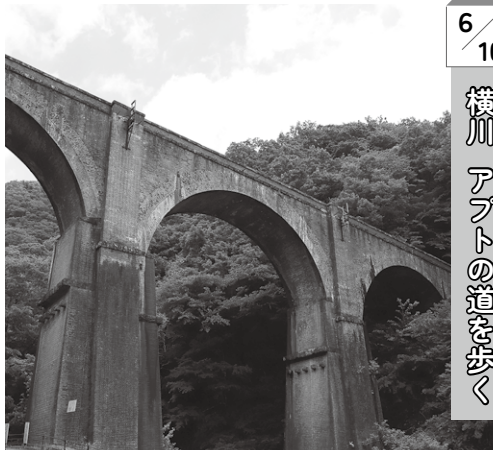
5月26日(火)「岳都」受講者を中心に25人が参加して上高地自然観察会を開催しました。

二輪草、羅生門蔓、紫八汐、躑躅、車葉衝羽根草、誰袖草、上溝桜、蝦夷蒲公英等35種類の花を観ることが出来ました。特にブラシのような花の塊の上溝桜には「初めて観た」と感動していました。

上高地自然観察会

6/10

横川 アプトの道を歩く

育成会
いも植え付け

マルチ張り 参加 子ども21人 大人31人



苗植え付け 参加 子ども19人 大人36人

須坂&小布施

5/11



世界の民族人形博物館



北斎館 福田美蘭「隠清図」見学



北斎館 学芸員の解説